



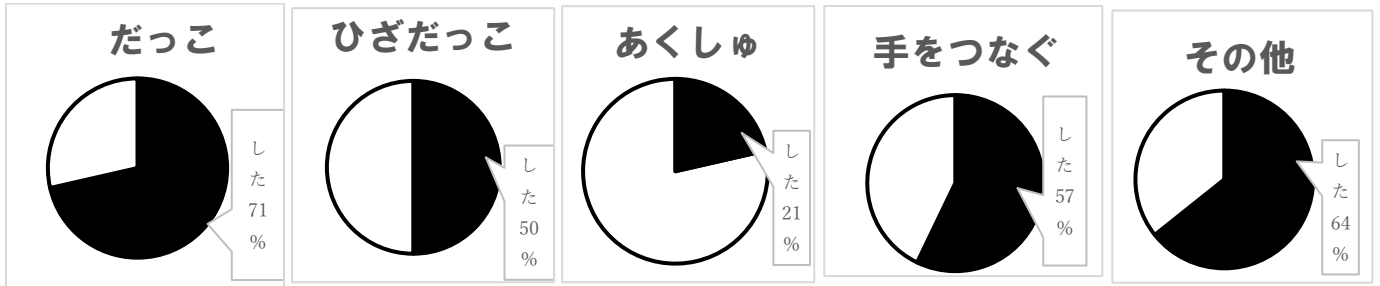
心のふれあいウィーク2を終えて

保護者のみなさまへ

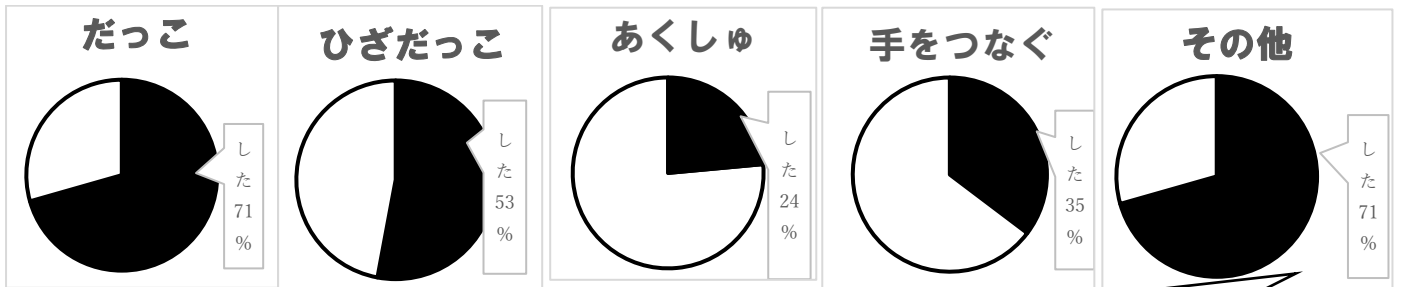
先日、実施しました『全校宿題：家族でスキンシップ2』は、前回と同様、それぞれのご家庭に合わせたものを工夫して取り組んでいただき、ありがとうございました。

心のふれあいウィーク2 取組結果

【6月の結果】



【10月の結果】



「おんぶ」「なでる」「^{いっしょ}一緒にねる」などがありました。

震災後では「当たり前の毎日」が突然奪われることを皆、経験しました。長いようで短い子育て期間です。「子どもは18歳を過ぎたら独立する。」奥能登では、高校卒業後は進学・就職を機に一旦、親元を離れて生活をする子がほとんどです。親子で一緒に暮らせる期間は、あとどのくらいでしょう。そう考えたら、いつもの日常が愛おしく思えます。

保護者のみなさまの感想から、忙しい毎日の中で、どれくらい子どもに寄り添えるのか、その時間をいかに作り出せるかが大切だなと感じています。子育て中のみなさま、一生つきあう我が子です。今の時間をぜひ大切にしてください。3学期も心のふれあいウィークの取組を予定しています。今後ともよろしくお願ひします。

かんそう
感想

じどう
児童

- ・「ぎゅう」が一ばん大すきです。
- ・毎日していて、うれしかったり、ほっとしたりして、気持ちがよかったです。
- ・いつもよりもお母さんの優しさが伝わってきて、私の心もあたたまりました。
- ・とても心が温まりました。これからも続けていきたいです。
- ・久しぶりのだっこ。とてもあたたかかったし、自分は少しうれしかったです。またこのような機会があるといいです。
- ・スキンシップはあまりしないから、緊張したし、少しあたたかく感じた。あまりしないと思うけど、時々するのもいいかもと思った。

ひと
おうちの人

- ・会ってふれあえる幸せをかみしめました。毎日元気にすごしてくれてうれしいです。
- ・毎日が慌ただしく過ぎていく中で、子どもと少しでも体を触れ合うことがこんなにも大切な時間なんだと気づきました。
- ・最近、子どもからの「ありがとう」が増えました。
- ・自分が思っていたより大きくなっていて、びっくりしました。いつもこんな楽しい宿題だったらいいのになあと思いました。
- ・普段はなかなかそういう機会がないので、良い時間を過ごせたと思います。



ねん へいし めいな おやこ とく ようす ぜんかい つづ
6年 瓶子芽那さん親子の取り組みの様子です。前回にひき続き、
かそくなか よ つた しゃしん
家族仲の良さが伝わってくる、すてきな写真ですね。

